

令和 4 年 12 月 22 日、西牧大使は、当地 IOM(国際移住機関)のシツムベコ(Ms. Florence Situmbeko)事務所長を公邸での昼食に招き、日本の様々な支援について意見交換を行いました。

同事務所長は、自身のソーシャル・ワーカーとしての経験を基に、主に難民問題に取り組んでいるが、世界的な気候変動は、農耕に依存する気候に対して脆弱な人々が、新たな生活の糧を求めて国境を越えるという新たな難民問題を生み出しているとのことです。今後、日本としてどのような支援の可能性が見いだされるか、様々な意見交換が行われました。



西牧大使(左)と当地 IOM シツムベコ事務所長(右)